

広田っ子

～本物の笑顔が輝く広田小～

佐世保市立広田小学校 学校だより
第7号 令和4年11月16日(水)
文責 井上 文典

「本物の笑顔」に簡単アクセス
広田小HP QRコード



朝夕は、秋寒を少し感じるようになりました。そして、校庭の木々も徐々に黄や紅の色が見られるようになってきました。本校校舎ホームグラウンドでの運動会も、子どもたちの笑顔とともに終了し、益々「実りの秋」を実感しているところです。

今、子どもたちはこれまでの学びの成果や、身につけた言葉などを通して、豊かに表現しています。特に教室では、教師が子どもたちの学びの成果や成長を「表現」の中で見つけています。テスト等も大切なのですが、「表現」はテスト等と同じようにその子の成長や課題を知る大切な機会です。また、よく観察しているのが「遊びの中の言動」です。遊びの中の他者を思いやる言葉や無意識の行動を見つけるたびに、心の成長を感じているところです。

子どもたちには自分さえよければよいという笑顔ではなく、協働や共遊を通して、他者理解、他者貢献の大切さと心地よさを感じながら、自身の笑顔を本物にしてほしいと願っています。



本校舎「ホームグラウンド運動会」を振り返って

10月30日、爽やかな秋空の下、1年生から5年生の運動会を17年ぶりに本校舎運動場で実施することができました。

計画では、5月末に実施する予定でしたが、コロナの影響があり子どもたちの健康と安全を最優先に考え、延期を決断いたしました。この延期の期間、子どもたちは「秋には笑顔いっぱいの運動会にする」と気持ちを切り替えていました。特に10月に入ってからは、運動会の練習も熱を帯び、精一杯頑張る姿を数多く見ました。中には「校長先生 次の時間 私たち踊るけん見に来て!」と、自分たちの伸びを誇りに思って、しっかりとアピールする子どもたちもいました。



会場を本校舎運動場に戻すにあたっては、熟考し、何度も議論を重ね、さらには、本校舎で運動会を実施していたころの先生方にアドバイスをいただいたり、地域の方に当時の様子を教えていただいたりしながら準備を進めました。

運営にあたって保護者の皆様には、様々な制限や願いをし、ご理解とご協力をいただきました。朝、校門前の入場待ちでは、お願いをしておりました時刻を守って並んでいただきました。また、交替席においても、初めての試みにもかかわらず、早々に意図を察していただき、ご協力いただきました。保護者の皆様のルール遵守とマナーアップのお姿は広田小学校のかけがえのない宝です。深く感謝しております。

当日の最大入場者数は、児童数も入れると2000人を超えていました。安全第一の運営を笑顔で支えていただいたPTA本部、保健体育部の皆様、そして、早朝6時からご集合いただき、巡視や見守り等をしていただいたおやじの会の皆様には、心から感謝申し上げます。

広田の丘にある校舎や校庭の花や木々が見守る中、そして、何より子どもたちの練習の汗と、仲間と共に頑張った足跡があるホームグラウンドでの運動会の成功は、正に皆様のご理解とご協力おかげです。重ねて心からお礼申し上げます。

ありがとうございました。

子どものネットトラブルを他人事と思わないでください

“子どものネットの中の「課金」「投げ銭」でクレジットカードの支払いが高額に！”

“深夜まで年齢制限のあるゲーム、動画閲覧 さらに、SNS での誹謗中傷 写真や動画のアップロード等・・・取り返しがつかないことに！”

本校ではまだ課金等のトラブルの報告はありません。しかし、子どもたちの会話に耳を傾けると・・・

子どもたちのネットゲームや動画やライブ配信やその他 SNS 利用に対する関心、欲求はものすごいものがあります。中には、年齢指定があるものを閲覧したり、遊んだりしている様子もうかがえます。

子どもたちは、刺激の強いネットゲームや配信されている動画について話題にしたり、自分たちでアップロードした動画等について気軽に話したりしています。中には、低学年でも発達段階や年齢に適正ではないもの、暴力的な表現などのものにふれながら会話をしている子もいます。

子どもたちは発達段階に沿って、情報や刺激に対する心のシーソー、心のブレーキが備わっていきます。

だから、昔から「子どもの前では・・・」という不文律の大人のルールがありました。しかし、現在のネット環境は、状況によっては子どもたちの方が保護者の方より情報を熟知していて、心の成長とは関係なく容易に快楽の刺激に近づくことができます。また、一般的に大人のネット依存の傾向も強くなっており、子どものためにブレーキをかけるべき身近な大人の判断も難しくなっている状況もあるようです。

子どもたちが一度ふれたネット上の刺激に対して、心のブレーキをもたせることは容易ではありません。しかし、現状は益々ブレーキがかかりにくい状況になっているのは確かです。

家庭内でのネットゲームや動画視聴については学校での指導には限界があります。まずはお子さんがどのようなゲームや動画にふれているのか保護者様の責任においてご確認ください。そして、確実に履行するための家庭のルールを設けてください。クレジットカードの管理や、電話会社などのキャリア決済のためのID やパスワードの管理は確実に行ってください。

まさかうちの子がそんなメッセージや動画を SNS に・・・

まさかうちの子が数百万の課金をしているなんて・・・

この「まさか・・・」は確実に近いところにきています。

今一度、お子さんの端末の利用の実態を確認していただくとともに、家庭のルールを確実に設けてください。